

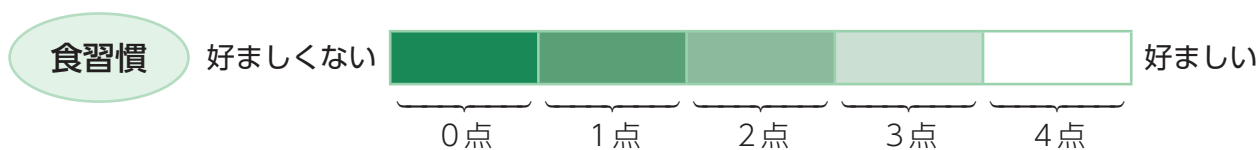
## 結果通知書の見方や判定基準を記載しています 結果通知書とともにご覧ください

**Q** 身長と体重の全国平均について教えてください。

**A** 身長・体重の全国平均については、日本小児内分泌学会・日本成長学会合同標準値委員会の推奨に基づき、最新のものではなく平成12年乳幼児身体発育調査報告書（厚生労働省）および学校保健統計調査報告書（文部科学省）のデータを記載しています。

**Q** 「食習慣」について教えてください。

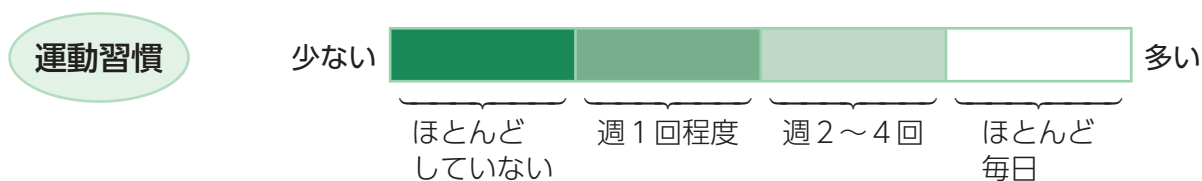
**A** 食習慣について、調査票で、全部で10の質問にお答えいただきました。判定では、食べ方に関する2項目（「食べる速度（1問）」、「朝食の欠食（1問）」と、食事内容に関する2項目（「カロリー・塩分（3問）」、「食事のバランス（5問）」）、計4項目（10問）について0-1で得点化し、0-4点に分布する得点に応じて、帯グラフの該当箇所に○を表記しています。○印が右側にあるほど、食べ方や食事内容が好ましいことを示しています。



項目ごとに判定し、「好ましくない」と判定された場合、例えば「カロリー・塩分」については「カロリーや塩分をとりすぎる傾向にあります」などと判定、表記されています。

**Q** 「運動習慣」について教えてください。

**A** 結果通知書の帯グラフには、調査票で選択いただいた回答の該当箇所に、○が表記されています。○印が右側にあるほど、体を動かす習慣が多いことを示しています。



ご回答いただいたデータの分布状況、日本学術会議による提言（平成23年）などから、次のように判定しました。

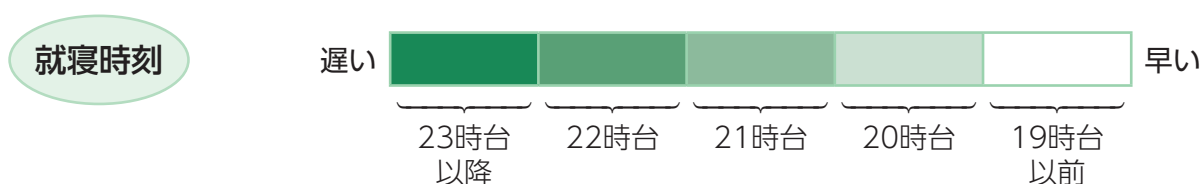
回答結果	判 定
ほとんどしていない	運動する頻度が少ない傾向にあります
週1回程度	
週2～4回	適度な運動ができています
ほとんど毎日	



「就寝時刻」について教えてください。



結果通知書の帯グラフには、調査票で記載いただいた時刻の該当箇所に、○が表記されています。○印が右側にあるほど、就寝時刻が早いことを示しています。



ご回答いただいたデータの分布状況や、日本小児保健協会の報告（平成22年）などを参考に、21時台を中心とする5つの時間帯区分を設定して次のように判定しました。

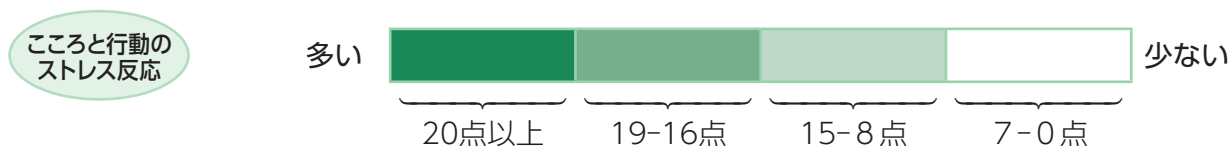
回答結果	判 定
23時台以降	就寝時刻が遅い傾向にあります
22時台	
21時台	適度な睡眠がとれています
20時台	
19時台以前	



「こころと行動のストレス反応」について教えてください。



子どもの情緒と行動について、SDQ と呼ばれるものさしで測定しました。具体的には、「他人の気持ちをよく気づかう」、「おちつきがなく、長い間じっとしてられない」などの25項目について、過去半年間にどのくらい当てはまるかをお尋ねしました。そのうち、集中力欠如や多動傾向、攻撃的反抗的な態度、不安やイライラ、友人関係の問題など、困難性に関する20項目について点数化し、ストレス反応の程度を判定しました。結果通知書の帯グラフには、合計得点の該当箇所に○が表記されています。



回答結果 (40点満点中)	判 定
20点以上	ストレス反応が多い傾向にあります
19-16点	
15-8点	ストレス反応は少ない傾向にあります
7-0点	